

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	:	定量濾紙 No. 3、No. 5A、No. 5B、No. 5C、No. 6、No. 7 硬質濾紙 No. 4A
会社名	:	東洋濾紙株式会社
本社住所	:	東京都文京区音羽1-18-10
担当部門	:	新潟工場
電話番号	:	025-257-5101
FAX 番号	:	025-257-5131
緊急連絡電話番号	:	上記担当部門
推奨用途および使用上の制限	:	定量濾紙、硬質濾紙
整理番号	:	MA-9008 J -23



## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	:	分類対象外
健康に対する有害性	:	
急性毒性	:	(経口) 区分外 (経皮) 区分外 (吸入：ガス) 分類対象外 (吸入：蒸気) 分類対象外
皮膚腐食性／刺激性	:	区分外
生殖細胞変異原性	:	区分外
環境に対する有害性	:	分類できない
ラベル要素	:	なし

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	:	単一製品
化学名又は一般名	:	定量濾紙、硬質濾紙
成分及び含有量	:	セルロース
化学式または構造式	:	セルロース $(C_6H_{10}O_5)_n$
官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	:	_____
CAS No.	:	セルロース 9004-34-6
国連分類	:	_____
国連番号	:	_____

## 4. 応急措置

眼に入った場合	:	直ちに清浄な流水で十分に洗眼する。 異常がある場合は、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	:	該当しない。
吸入した場合	:	該当しない。
飲み込んだ場合	:	異常がある場合は、医師の診察を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火方法 : 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。  
使ってはならない消火剤 : 情報なし。  
消火剤 : 水（噴霧）、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。
- 

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 情報なし。  
保護具及び緊急時措置 : 情報なし。  
環境に対する注意事項 : 情報なし。  
回収・中和 : 情報なし。  
廃棄の方法は、【廃棄上の注意】に従うこと。
- 

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : \_\_\_\_\_  
保管 : 変質および吸湿による劣化を防止するため、密閉して、冷暗所に貯蔵する。  
また酸化物質、有機過酸化物質などと、同一の場所に置かない。  
1,000kg以上の保存時には、消防法(指定可燃物)の適用を受ける(セルロース)。
- 

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : データなし。  
許容濃度 日本産業衛生学会 : データなし。  
ACGIH : データなし。  
設備対策 : \_\_\_\_\_  
保護具 : 必要に応じて使用する。
- 

## 9. 物理及び化学的性質

- 外観（物理的状态、形状、色など） : 白色。  
臭い : なし。  
pH : データなし。  
融点・凝固点 : データなし。  
引火点 : データなし。  
爆発範囲 上限 : データなし。  
下限 : データなし。  
比重（相対密度） : 1.5 (セルロース)  
溶解度 : 水に不溶。 (セルロース)  
自然発火温度 : データなし。  
分解温度 : データなし。  
燃焼性（固体、ガス） : あり。
-

## 10. 安定性及び反応性

安定性、反応性	：	通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	：	データなし。
避けるべき条件	：	直射日光、紫外線、水濡れ、高温、高湿、屋外保管
混触危険物質	：	強酸化剤
危険有害な分解生成物	：	データなし。

## 11. 有害性情報

急性毒性	：	(経口) 区分外
	：	(経皮) 区分外
	：	(吸入：ガス) 分類対象外
	：	(吸入：蒸気) 分類対象外
	：	(吸入：粉塵、ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	：	区分外
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	：	区分外
発がん性	：	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	：	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	：	データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性		
水生環境有害性 (急性)	：	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 (慢性)	：	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	：	データなし。
生体蓄積性	：	データなし。
土壤中の移動性	：	データなし。
オゾン層有害性	：	データ不足のため分類できない。
その他	：	環境汚染ならびに海洋生物、鳥類などが摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも、投棄、放出してはならない。

## 13. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する(国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う)。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する(廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします)。

## 14. 輸送上の注意

## 15. 適用法令

## 消防法

： 第九条の四（指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取扱いの基準）、危険物の規制に関する法令第一条の十二、別表第四指定可燃物（ぼろ及び紙くず。1,000kg以上は消防法の適用を受ける。1,000kg未満の場合、物品の貯蔵及び取扱いの技術上の基準は市町村条例で定める）（セルロース）。

---

## 16. その他の情報

## 記載内容の取扱

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

## 参考文献

- ・ 化学物質等安全データシートMSDS－第1部：内容及び項目の順序（JIS Z 7250:2010）
  - ・ 国連GHS文書 改訂3版（2009年）
  - ・ GHS分類マニュアル [H17.10.20版] GHS関係省庁連絡会議監修
  - ・ GHS対応ラベルおよびMSDS作成マニュアル 厚生労働省医薬食品局
  - ・ GHS分類結果データベース 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
-